



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階  
TEL/FAX 03-3847-0154 URL: https://www.asachu-rc.jp



世界に希望を生み出そう

R.I.会長 ゴードン R・マッキナリー

地区ガバナー 栃木 一夫

## 2023 - 2024 年度テーマ

クラブテーマ 「クラブを心のよりどころに」

クラブ会長 土師 幸士

## 本日の例会

「インド最新情報」

みずほ銀行浅草雷門支店 法人部副部長 土田 博様

## 今後の例会 (卓話) 予定

- 11/15 新入会員イニシエーションスピーチ&会員卓話  
飯島邦夫会員・斎藤彰悟会員
- 11/22 祭日振替 (勤労感謝の日)
- 11/29 炉辺報告



2023年11月8日

第1759回例会

会長 土師 幸士  
幹事 江連 雅孝

## 前回 (11/1 1758 回例会) の記録

### 来訪者紹介

- ◆ゲスト 2名 卓話者 評論家・麗澤大学客員教授 江崎道朗様  
米山留学生 イマン様
- ◆ビジター 3名 東京浅草 R.C. 林 英彦様、東京上野 R.C. 副会長 山下隆利様、  
東京上野 R.C. 40周年実行委員会 佐谷 剛様

### 出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席報告
46名	0名	4名	35名	10名	77.78%	1756回例会 欠席8名

### 会長挨拶<土師会長>

皆さんこんにちは。本日は11月の第1例会です。

卓話を頂きます麗澤大学客員教授の江崎様、そしてビジターとして東京浅草RCより林様、東京上野RCより山下様・佐谷様、ようこそご来訪くださいました。また米山奨学生のイマンさんにもお越し頂いております。

さて、先週の土曜日には、花木工業株式会社の創業60周年記念パーティーに当クラブの会長としてお招き頂きました。併せて海内さんの会長ご就任、ご子息の社長ご就任に伴う

ご披露の場でもありました。帝国ホテルに200名を優に超える方々が集まれ、その中には社員とご家族の皆さまも招かれており、趣向も凝らされた大変素晴らしく楽しいひと時を過ごさせて頂きました。社員を、またご家族をも大切にされている海内さんの人柄を改めて感じさせて頂いた次第です。本日はご欠席でございますが、本当におめでとうございます。

さて、暦も11月に入り、私の会長任期も4ヶ月が過ぎました。3分の1がやっと終わったところでございます。主だった行事はほぼ

[<次頁へつづく>](#)

ほぼ完了していますが、まだこれからも大切な各事業が残っております。残り3分の2の任期も気を引き締めて取り組んで参る所存です。そして、大きな命題としてクラブの会員増強がございます。過日実施したオープン例会への参加者を含めて、我がクラブにより多くのメンバーを迎え入れられるよう、皆さまのお力添えをお願いできればと思っております。是非ご協力の程を宜しくお願い申し上げます。



東京上野 RC 副会長  
山下隆利 様



東京上野 RC  
40周年記念事業実行委員  
佐谷 剛 様

### 幹事報告<江連幹事>

- ・本日、例会終了後に第5回理事・役員会を開催いたします。場所が25階「舞の間」に変更となりました。宜しくお願い致します。
- ・例会臨時変更のお知らせが来ております。

クラブ事務所にてご確認ください。

- ・前回、いわき総合高校から第6回「フラフェス in 浅草」に対して御礼状が届きましたが今回、いわき湯本高校の学生さんより御礼状が届いておりますのでご報告致します。

### 委員会報告

#### <ゴルフ同好会 常見幹事>

- ・今月のゴルフ同好会コンペが来週11月9日(木)「PGM 総成ゴルフクラブ」で開催されます。組み合わせ表は変更があったので本日朝

メールでお送りしています。ご確認お願い致します。7時35分キャディーマスター室前に集合となりますので、ご参加の方はよろしくお願いたします。

### ニコニコボックス

#### <東京上野R.C. 副会長 山下隆利様、40周年実行委員会委員 佐谷 剛様>

- ・本日は12月7日(木)の創立40周年記念オープンフォーラムのご案内に参りました。皆様よろしくお願致します。

#### <土師会長、江連幹事>

- ・東京上野ロータリークラブ 山下様、佐谷様、ようこそのご来訪です。

本日の卓話「欧米で進む近現代史見直し」  
評論家・麗澤大学客員教授 江崎道朗様、  
よろしくお願致します。

#### <古谷、後上、浜中、原田、伊藤、片岡、勝畑、河村、小林、松丸、松本、宮崎、関原、常見、内田、渡辺>

- ・本日の卓話は、評論家・麗澤大学客員教授 江崎道朗様の「欧米で進む近現代史見直し」です。江崎様よろしくお願いたします。

#### <飯島、中橋、中村、佐藤、上原、吉村、吉沼>

- ・イマンさん本日のニコニコの発表をお願いします。楽しみにしています。

#### <高木、長沼、土師、後上>

- ・花木工業(株)60周年記念パーティおめでとうございます。ご長男の社長、栄一さんの会長就任も合わせておめでとうございます。これからは、若い人に任せて余生をお楽しみ下さい。

#### <長沼>

- ・当クラブ元青少年交換留学生の山本絵理さんが一時帰国して、11月23日木曜日にピアノリサイタルを開催します。一緒に聴きに行きませんか？

#### <立野、土師、中村、本間>

- ・お誕生日のお祝いをして戴きありがとうございます。ありがとうございました。

# 「欧米で進む近現代史見直し」



評論家・麗澤大学客員教授  
江崎 道朗様

## 欧米で進む近現代史見直し

評論家・麗澤大学客員教授  
江崎 道朗

### 実は欧米で「戦勝国史観」見直しが始まっていた

- ①1989年にベルリンの壁が崩壊。ポーランド、ハンガリーなど中・東欧諸国の「民主化」が起こる。そして最終的にソ連邦の解体とバルト三国の独立といった一連の「民主化」、正確に言えば、脱「共産主義」化の影響で、ソ連の戦争責任を追及する動きが急速に広がっている。
- ②1991年以降、ロシア、アメリカ、イギリスなどが第二次世界大戦に関する機密文書を情報公開



### ソ連とナチス・ドイツ、そしてバルト三国を見捨てたルーズベルト民主党政権の責任を問うバルト三国



リトアニア大聖堂と、ラトビア占領博物館



### 2019年9月19日、欧州議会「欧州の未来に向けた重要な欧州の記憶」決議

「80年前の8月23日、共産主義のソ連とナチス・ドイツがモトフ・リッペントロップ協定と呼ばれる不可侵条約を締結し、その秘密議定書で欧州とこれら2つの全体主義体制に挟まれた独立諸国の領土とを分割して、彼らの権益圏内に組み込み、第二次世界大戦勃発への道を開いた」

「モトフ・リッペントロップ協定と、それに続く1939年9月28日の独ソ境界・友好条約の直接的帰結として、ポーランド共和国はまずヒトラーに、また2週間後にはスターリンに侵略されて独立を奪われ、ポーランド国民にとって前例のない悲劇となった。共産主義のソ連は1939年11月30日にフィンランドに対して侵略戦争を開始し、1940年6月にはルーマニアの一部を占領・併合して一切返還せず、独立共和国たるリトアニア、ラトヴィア、エストニアを併合した」

「第二次世界大戦終結のあと、一部の欧州諸国は再建して和解へのプロセスに踏み出すことができた一方で、幾つかの欧州諸国は独裁体制のもとに残って、一部はソ連の直接占領や影響下に置かれ、自由、独立、尊厳、人権および社会経済的発展を半世紀の間、奪われ続けた」

「ナチスの犯罪はニュルンベルク裁判で審査され罰せられたものの、スターリニズムや他の独裁体制の犯罪への認識を高め、教訓的評価を行い、法的調査を行う喫緊の必要性が依然としてある」

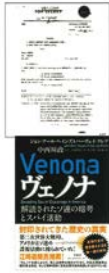
### ヴェノナ文書(1995年)とインテリジェンス・ヒストリー

この25年、各国政府の情報公開によって近現代史見直しが始まっている

- アメリカ**
  - ・アメリカ国家安全保障局が1995年7月、VENONA FILEを公開開始。
- ロシア**
  - ・ソ連邦が1991年に解体したあと、旧ソ連時代の秘密情報をロシアの現代資料保存センターが公開。ただし現在は、非公開に。
- 日本**
  - 2001年11月30日、アジア歴史資料センターを開設。



## 情報史学によって判明しつつある事実



- ①第二次世界大戦前から、ソ連が百人単位の規模でアメリカにスパイを送り込んでいた。  
→ ルーズヴェルト政権は、ソ連の工作の影響を受けていた。
- ②ルーズヴェルト政権で財務次官補の要職にあったハリー・ホワイトが「Jurist」「Richard」というコードネームを持つソ連のスパイであった。
- ホワイトは、ハル・ノートの原案を作成した政府高官。
- ③ソ連は、アメリカの原爆プロジェクト「マンハッタン計画」を事前に把握していた。  
→ ソ連は1945年8月6日の広島への原爆投下を見届け、同月8日に対日宣戦布告を行い、千島や北方領土を不法占拠した。

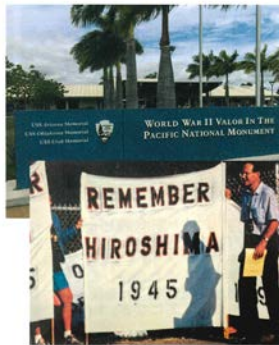
## アメリカでも進む歴史見直し



1995年、アメリカ政府が「ヴェノナ文書」を公開  
2005年5月7日、ブッシュ大統領はラトビアで演説し、ヴェノナ文書によってソ連の協力者と認定されたアルジャー・ヒスが関与したヤルタ協定について「史上最大の過ちの一つ」だと強く非難

## 意味が変わる 「リメンバー・パールハーバー」

- ①1941年12月、ルーズヴェルト大統領「卑怯な騙し討ち」
- ②1948年、チャールズ・ビアード『ルーズベルトの責任』（邦訳は藤原書店、2011年）
- ③1991年12月、ハワイのアリゾナ記念館でPearl Harbor「attack」50年式典論争と抗議行動



## A Gathering Storm

Conflict is brewing in Asia. The old world order is changing. Two new powers, the United States and Japan, are rising to take leading roles on the world stage. Both seek to further their own national interests. Both hope to avoid war. Both have embarked on courses of action that will collide at Pearl Harbor.



## ④アリゾナ記念館ビジター・センター

（「迫りくる危機」 アジアで対立が起きつつある。旧世界の秩序が変わりつつある。アメリカ合衆国と日本という二つの新興大国が、世界を舞台に主導的役割を取ろうと台頭してくる。両国ともに国益を推進しようとする。両国ともに戦争を避けることを望んでいる。両国が一連の行動をとり、それが真珠湾でぶつかることになる。）（引用者の私訳）

## 新入会員歓迎会

日 時：11月2日（木） 18：30より

会 場：浅草ビューホテル 27階

参加人数：33名

新入会員の皆様

飯島邦夫さん  
勝畑太郎さん  
吉村郁子さん



<今週担当 関原光治>